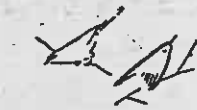


ミニデイサービス便り NO.2

11月28日(火) 晴れ 研修南保育園遊戯室
今回参加された利用者さんは4名でした。

~~~~~  
知らない所へ行くのを迷っておられた  
IさんとSさんは共に85歳。  
古い顔と新しい顔がすぐに仲良く。  
「ほうかな、あんたも一人で暮らしとるの」  
「よう働いてきたがね」  
80代の女性が3人。話がはずむ。  
男性一人で少し残念。  
スタッフが道端の吹きだまりの落ち葉を拾ってきた。とても美しい秋のいろ。  
みんなで秋の歌を照れ臭そうに歌った。  
昼食にも秋の香り、菊の花びら入り菜めしご飯も登場。  
「これ切ったのIさんだねー」お米の分量を忘れてしまって水かげんがわからずウロウロするスタッフに85歳のSさん「これでは多いわ、このくらいでいいんじゃない」と的確な指導。さすが大先輩。今日も、園児さんには大歓迎を受けた。午後、まごころ体操をお年寄りと園児さんと一緒に「ワンツー・ワンツー」。続いて、スタッフがペットボトルに色を塗って作った珍しいピンのボーリング、あや取り、ジグソーパズルで遊び(7ピッション)。最後に握手のプレゼントを残してくれた園児さん。本当にありがとう！  
「今日は楽しかった」とおっしゃって下さった皆さんありがとうございました。

~~~~~  
今日の新しいお顔のお一人は民生委員さんのご紹介でした。地域の皆様のご支援が暖かい。
今回ご病気で出でになれなかったFさん。早くお元気になって下さい。皆で待っています。
次回は、12月21日(木)です。



◆△云が充足して二年六ヶ月がたちました
~~~~~  
まごころサービスの助け合い活動のひとつが、自分たちの誇りと思える活動になっていきますでしょうか。  
手助けをさせていただく私達が、誇りに思える活動でなければ、利用される皆様に決まっていますか。

◆家族の介護負担の大きさ  
従って、日々の暮らしには息子さんの協力が欠かせないのが実情です。買い物、朝昼晩の食事の確保及び後片付け、入浴介助、洗濯等と息子さんが仕事を抱えて毎日こなしていくのはかなりの努力が必要とされます。家族以外の支援は必要だと感じ、ケアに入らせていただくことになりました。

◆日常生活の自立困難  
歩くことは何かゆっくりり出ますが、腕に力がない為に食事は自力で食べられても買い物や調理、後片付けは出来ない。入浴もお湯に浸かっても体が拭けない。  
転んだら自力で起き上がれない等、一人で在宅での日常生活は大半が自立困難の状況の方でした。

障害者手帳三級の五十五歳の女性・昼間ひとり暮らし・家族(会社員の息子さん2人と)・リユウマチで手足を手術・退院して一カ月経過の方から家事援助の依頼を受けました。

まごころサービスのわずかな支援を  
「ととても大きな安心です。」  
とおっしゃっています。

## ケア報告 制度の狭間で

◆少しいから助けてほしい  
「今の状態が少し良くなるまでいいから、少し助けてほしい」とおっしゃる言葉から、誰かの支援があるという事で、家族や自分自身が頑張れる、励みになる、と強く訴えておられるように感じました。

現在、障害者へのホームヘルプサービスが受けられるのは、一応障害の度合いが二級以上で、寝たきりの状態ということになっているようです(臨機応変に対応はあるようですが)。  
そして、高齢者への福祉サービスは、年齢がおおむね六十五歳以上が対象ということになっています。  
従って、この方のような三級障害者で五十五歳というのは、結局どちらにも当てはまらず、実際には支援が必要であるけれども、制度の狭間で福祉サービスが受けられないということになります。こういう方々は多いのではないのでしょうか。

### ありがとうございました

この度、Oさんより沢山のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。いただきましたご好意は、ミニデイサービス活動に使わせていただきます。



### 10月会員登録状況

|      |      |
|------|------|
| 協力会員 | 45人  |
| 利用会員 | 41人  |
| 賛助会員 | 113人 |
| 計    | 199人 |

### 10月活動状況

|      |       |
|------|-------|
| 活動件数 | 17件   |
| 活動人数 | 22人   |
| 活動時間 | 315時間 |